

はかまだより

子どものSOSにどう応えるか

前回、親から見た子どもの「困った行動」は「本人の困った行動」というお話をしました。しかし、本人は「困っている」とはいえ、親としても「困っている」というのが正直なところかと思います。そこで今回は、子どもの困り感に対してどう関わりと良いのかQ&A形式で紹介したいと思います。紹介した内容が必ずしも正解とは限りませんが、何かのヒントになれば幸いです。

その前に…

次のことにも気を付けましょう。

- 子どもの「**そばで**」「**静かに**」「**穏やか口調**」で話しましょう。
- 声をかけるタイミングを考えましょう。**一息つく瞬間がチャンス**です。
- 指示を伝える時は、「**1度に1つつ**」を心がけましょう。
- ホメる時は「結果だけではなく**努力の過程**」を意識しましょう。

最後に…**人は何度言ってもわからないもの**ということも忘れずに。

Q&A

Q1.部屋が散らかる

A. 「こういうふう片づけるんだよ」と声をかけながら**一緒に片づけ**ましょう。

(見本を示してあげることが大切です)

編集後記

できないことだけではなく、上手くいった時の原因・理由を探す視点も大切です。試行錯誤を繰り返し本人に合った方法を探していきましょう。 [制作・編集担当 袴田 亮]

Q2.切り替えが難しい

A. 「**終わり**」を話し合しましょう。「あと何回で終わらせられる?」「あと何分でできる?」など、子どもに聞いてみるのが大切です。上手く決められない時は「あと5分でどう?」と大人が提案してみましょう。場合によっては**アラーム**(スマートウォッチ)も有効です。

Q3.勝ち負けにこだわる

「にらっめこ」など負けても楽しい遊びを使い**負ける経験を積ませ**ましょう。ウノやトランプなどをも有効です。ただし、最初は大人がギリギリのところで負ける姿を見せましょう。その際、「くやしい」「まっいっか」など負けた時のスキルを教えましょう。

Q4.落ち着かない

まずは、TVはつけない、周りに気が散るものを置かないなど**刺激になるものを減ら**しましょう。